

美肌の沢

南東北／吾妻連峰 阿武隈川水系 須川不動沢下部

時差ボケ1名、膝痛1名、風邪気味1名、から成るカヨワイ(?)女子パーティ。奥多摩に変更する案も出ていたが、お水系への強い思いが勝った。



夏の醍醐味

8Mの滝は左、中央、右(水線)、と3つのラインがあり、リーダーは「3人異なるラインを登りましょう」と本気か冗談か良くわからない提案をする。私は一番行きやすそうだった真ん中を選択。サトリカさんは水がドバドバ落ちている右の水流沿いを果敢にチャレンジするが、結構立っていて難しい様子。またとないチャンスとばかり、お助けを出す練習をさせてもらった。今まで実際の沢でお助けを出したことがなかったが、実践だとやはり緊張感が出て、良い経験になった。



8M滝は中央(水流左)のラインをめがけ



30M不動滝前で遡行終了

【日程】

2016年7月31日(日)

【メンバー】

大田原(L)、佐藤、竹澤

【グレード】

1級(平水時)

【地形図】土湯温泉

【記】竹澤

高湯温泉の花月ハイラン

ドホテルの隣に高湯温泉観光協会の無料駐車場がある。道路を挟んで東側に広がるゴルフ場跡に入り、草原を横切ったら沢床目指して薄い藪斜面を下る。入渓してすぐの石積みの堰堤を越え、左俣を過ぎるとゴルジュが始まる。暑くてたまらないので、積極的に水に浸かり体を冷やす。次々と現れる滝をシャワークライム。今回はザイルを出すところはなかった。他会の過去の記録と比べると水量はかなり少ないようだ。水は温泉成分(硫黄)のせいか、酸味があり目に入ると不快。コンタクトレンズに付くと、1分程目が見えなくなって困った。

8Mの滝は左、中央、右(水線)、と3つのラインがあり、リーダーは「3人異なるラインを登りましょう」と本気か冗談か良くわからない提案をする。私は一番行きやすそう

ゴルジュをどんどん進むと、あっという間に30M不動滝に到着。その先は巻きに入ってしまうあまり面白くなさそうとのことで、下山することで満場一致。不動滝の遊歩道をたどって下山した(といっても駐車場までたったの徒歩20分)。まだ昼前で時間もあるので、高湯温泉でのんびりできた。かけ流しの、白く濁った何とも良いお湯、しかも250円。温泉成分が溶け込んだ沢の水もふんだんに浴びていたし、ダブルの美肌効果が期待できるかも!?

アプローチも短く、ちょっとした温泉旅気分も味わえる、水遊び半日コースとしてお勧めです。

【行程】

駐車場 (8:10) ~入渓 (8:30) ~不動滝 (10:45/11:10) ~駐車場 (11:30)

【廻行図】

